

武蔵大生が大学の魅力を発信する Web マガジン コロナ禍でも元気に配信し続ける「きじキジ」

武蔵大学（東京都練馬区／学長 山崎哲哉）は、2013 年より高校生や在学生を対象とした Musashi Web Magazine「きじキジ」を公開しています。このサイトは、武蔵大生によって構成された編集部が企画・編集をし、大学生活やキャンパスのある江古田にまつわるさまざまな情報を、形式にとらわれない自由なスタイルで発信。学生ならではの視点や、ユニークな発想と行動力でコンテンツが作られているのが特徴です。

Musashi Web Magazine「きじキジ」とは

Musashi Web Magazine「きじキジ」の編集部員は現在、1～3 年生 10 名の構成。大学広報活動の一環という側面もあり、スキルアップのため教職員が定期的にワークショップを開催するなど活動をバックアップしています。「きじ」（雉）は、武蔵大学のロゴのモチーフで、本学のルーツである旧制武蔵高等学校時代からのシンボル。「きじキジ」のネーミングは、学生が提案した「雉」と「記事」をかけたネーミングが採用されて生まれました。

■ Musashi Web Magazine「きじキジ」Pick up !

Web マガジンのコンテンツは、「特集」「イベント」「勉強」「ライフ」「進路」「恋愛」「グルメ」「ブログ」「その他」の 9 つのカテゴリに分類されています。

— 直近の投稿より —

▼「ムサシのゼミの VR プロジェクト『ぶみゅー』ってなんだ!？」

ヴァーチャルで武蔵大学のキャンパスを作った人文学部のゼミにインタビューした記事。

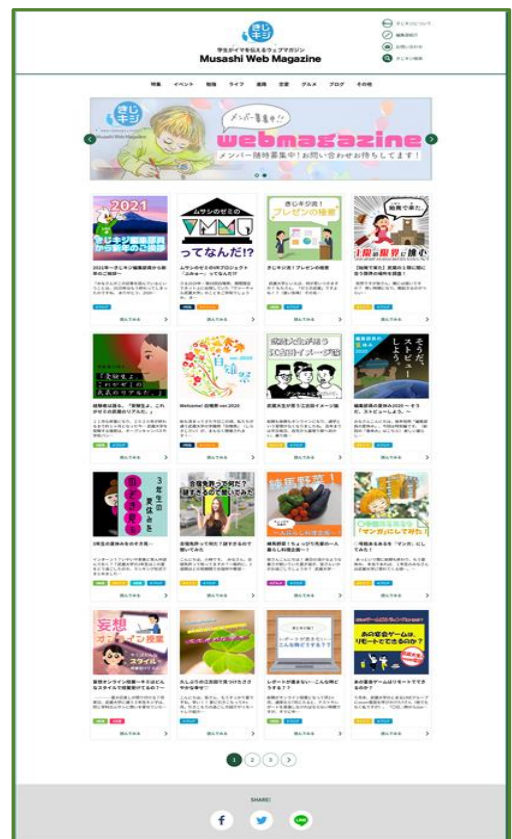
▼「きじキジ流！プレゼンの極意」

誰もが知りたいプレゼンの仕方、ここでは調査をした結果、その極意をお知らせしています。

▼「1 限の限界に挑む」

1 限に間に合う限界の場所を調査しています。コロナで大学に来られない 1 年生の妄想からできた記事。仙台や新潟、大阪などからでも 9 時開始の 1 限に間に合うことを証明しています。

※ぜひ、こちらからご覧ください。URL : <https://webmag.musashi.ac.jp/>



— 報道関係者問い合わせ先 —

武蔵大学 広報室

TEL : 03-5984-3813 FAX : 03-5984-3727 E-mail : pubg-r@sec.musashi.ac.jp

2022 年、武蔵学園は創立 100 周年を迎えます。

■ 武蔵大学 日本で初めてリベラルアーツ教育を行った旧制高等学校がルーツ

〔アクセス：西武池袋線「江古田駅」から徒歩 6 分〕

武蔵大学のルーツは、東武鉄道や東京地下鉄道（現東京メトロ）など多くの鉄道事業に携わり「鉄道王」と呼ばれた根津嘉一郎（初代、1860～1940）が、1922（大正 11）年に私財を投じて創立した日本初の私立七年制の旧制武蔵高等学校。戦後の学制改革により、1948（昭和 23）年 4 月に新制武蔵高等学校、翌年に新制武蔵大学、新制武蔵中学校が開設され、学校法人根津育英会武蔵学園として現在に至る。武蔵大学は、経済、人文、社会の 3 学部 8 学科からなる文系総合大学。一年次から 4 年間のゼミナールが必修で「ゼミの武蔵」といわれる。

2012 年には、外国語や異文化を楽しみながら学ぶことのできる国際村 Musashi Communication Village（通称 MCV）を開設、キャンパス内留学の拠点とした。

2020 年 3 月には、ロンドン大学と武蔵大学とのパラレル・ディグリー・プログラムにおいて初のロンドン大学学位取得者を輩出、グローバル教育の更なる発展に力を注いでいる。

2022 年 4 月、学園創立 100 周年を迎えるこの年に、新学部となる国際教養学部（仮称）の設置を構想中。

学長 山崎哲哉 〒176-8534 東京都練馬区豊玉上 1-26-1